

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科
科目名称 [英語名称]	応用栄養学Ⅱ [Nutritional ScienceⅡ]				実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○
科目コード	302700	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	出口 佳奈絵				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2)	
授業概要	<p>本科目では、成長・発達、加齢に伴う人体の生理的変化と特徴を学び、栄養状態や心身機能に応じた栄養ケア・マネジメント実施のための理論を習得することを目的とします。特に、成人期・更年期、高齢期の人体の構造や生理機能の変化に伴う栄養状態の推移に相応する栄養学の学修を深めます。また、健康な人の栄養管理の指標である食事摂取基準の基本的な考え方や活用方法を理解し、疾病予防のための適切な栄養ケアを実施できる実践力を養うことを目指します。</p> <p>【知識・理解の獲得】【問題解決力・論理的思考力の育成】【多様性理解の育成】</p>						
関連する科目	基礎栄養学、からだと栄養、からだと疾病、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学						
授業の進め方と方法	主に講義形式で教科書とパワーポイントを用いて進行します。授業内の練習問題で理解度を確認します。授業内でグループ討論、プレゼンテーションを行います。						
授業計画	<p>第1回 成人期の生理的特性 第2回 成人期の栄養アセスメント 第3回 成人期の栄養ケア①(生活習慣と疾患との関連) 第4回 成人期の栄養ケア②(生活習慣病の予防と改善) 第5回 更年期の生理的変化と栄養ケア 第6回 成人期における食事摂取基準の策定根拠と基本的理解 成人期・更年期の栄養評価や疾病予防のための栄養管理法について学びます。</p> <p>第7回 成人期における栄養ケア・マネジメントの検討 第8回 成人期における栄養ケア・マネジメントの報告 成人期の栄養ケア・マネジメントについてグループ討論とプレゼンを行います。</p> <p>第9回 高齢期の生理的特性 第10回 高齢期の栄養アセスメント 第11回 高齢期の栄養ケア①(低栄養、サルコペニア、フレイル) 第12回 高齢期の栄養ケア②(誤嚥性肺炎、脱水) 第13回 高齢期における食事摂取基準の策定根拠と基本的理解 第14回 高齢期における栄養ケア・マネジメント 高齢期における栄養評価やQOL,ADL低下予防のための栄養支援について学びます。</p> <p>第15回 応用栄養学Ⅱのまとめ ライフステージ各期のまとめと事例について学びます。</p>						
授業の到達目標	<p>①対象者の栄養状態を評価する基本的な考え方を理解できる。【知識・理解の育成】</p> <p>②対象者に応じた栄養ケア・マネジメントの基本的な手法を理解できる。【問題解決力・論理的思考力の育成】</p> <p>③成人期と高齢期の生理的特性と栄養ケアを理解し、説明することができる。【多様性理解の育成】</p>						
授業時間外の学修	<p>【予習(90分)】講義前日、次回範囲の内容について教科書を熟読し、学習しておくこと。</p> <p>【復習(90分)】復習として管理栄養士国家試験の過去問題を解く習慣をつけること。 また、普段から食と健康に関する情報に興味・関心を高めておくこと。</p>						
課題に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験は採点結果を開示する。 ・授業内提出物は個別にコメントを返却する。 	評価方法			<ul style="list-style-type: none"> ①定期試験(70%) ②授業内提出物(20%) ③授業内活動(10%) 		
テキスト	栄養科学イラストレイテッド 応用栄養学(改訂第2版) 栢下 淳・上西一弘 編著						
参考書	「日本人のための食事摂取基準(2020年版)」 健康・栄養科学シリーズ「基礎栄養学」(南江堂)						
備考	毎回の予習と復習は大切です。 配布資料の整理を行い、学習内容をしっかり記録して、3年次の「応用栄養学実習」に備えましょう。						